

令和6年度第3回 学校運営協議会

令和7年2月4日（火）第3回学校運営協議会を行いました。今回は1年間の取り組みを説明し、令和7年に向けての取り組みについて御意見をいただきました。また、高等部生徒が、委員の前でエシカル甲子園、ぼうさい甲子園の発表を行いました。

【エシカル甲子園 ぼうさい甲子園の発表】

エシカル甲子園→発表する姿勢がよい。作り方や値段がよくわかった。自分の家でも使っているか？また感想を教えて欲しい。
大淵ふるさと村や商工フェアでQちゃんは大人気。あればあるだけ売れる。人気が高い。すぐに売れるのでたくさん欲しい。環境活動で地域や企業とつながるのはよい。続けてほしい。

ぼうさい甲子園→姿勢よくはきはきと発表していてよかった。ジュニア防災士で、どんなことをするのか？

→履歴書に書く。何かあったとき、周りの人を助けるために使う。

履歴書に書くのはいい。良い資格。

防災は卒業後も続けていくことがよかった。私は気仙沼と関わりがある。ジュニア防災士はよい。後輩や地域の方にも伝えていってほしい。

【学校評価について】

学校全体の評価や学部評価について報告した。

委員からの質疑・応答

働きやすい環境の項目が明らかに低い。冷房が整わないことも原因かと思われる。各学部でできることを考えているが、学校全体としてどう考えているか。

学校→働き方にはハード面とソフト面がある。ハード面はなかなか難しい。暑い、寒い、狭い…学校としては変えられない。県教委に要望していく。ソフト面は、知恵を自分たちで出し合う。考えているか？

委員より

学校運営協議会は、話したことを公にすることで、設置者に知ってもらおうという意味合いもある。

HPが見やすくなった。時々見ている。福祉避難所について、マニュアル

作成や生徒指導などとても頑張っていると思う。

ほめられることが分かることが大事。子どもはほめられることが好き。モチベーションがアップする。大人も同じ。嬉しくなる。教師の働きやすい環境を整えることは子どもにも関わってくる。できることがあればサポートする。

テレビや新聞の報道は、富士特支だけでなく分校についても多くなった。みんなが見ている。地域の人考え方が変わってきている。発信により、周りの目が変わる。

大きな問題なく、順調に進んでいる。要所要所をまとめていく人がチームの人の意を汲みながらやっているから。グランドデザインは1つのモデル、指標。学年やクラスにどうおろしていくか。自分のこととしてイメージを抱けるか。学校評価の全てを頭に入れるのは難しい。すごい情報量。整理して、学校全体や学部へ。焦点を絞って、成果を一人一人が理解しておく。

12年間でどう動くか、今はどう動くか。到達点を共有して、それに向かうことを大事にしてほしい。学校評価は莫大な時間がかかる。今年を振り返って、どこが到達点で、どこを目指すのか、活用するとよい。

以上のようなアドバイスをいただいた。

【R 7 学校経営計画について】

校長より「今年度の学校評価はAが多かったので、大きく変えない。R 6を踏襲。」と説明した。グランドデザインについては、小中高が横並びだったのを、斜めに富士山に向かっていくように変更したところを説明した。

委員の皆さんに了承していただいた。